文部科学省　障害者の生涯学習推進アドバイザー派遣事業

障がいのある青年たちとつくる

「学びの場」講演会

障がいのある子の18歳以降にも、学びの場があることをご存知ですか？

知的障がいや発達障がいのある子どもたちは、その時々で必要な支援を受けながら、特別支援学校の高等部や高校を卒業します。そして卒業後は、ほとんどの人が18歳で働き始めますが、まだまだ発達の途上にある障がいのある青年たちに、就労以外の道はないのでしょうか？

そんな問いに答えるべく、全国では専攻科やカレッジといった学びの場が増えつつあります。

本講演会では、18歳以降の学びを「ライフワイド」の視点から考えることで、その意義を発見できる機会になると思います。

プログラム

①講演

「ライフワイドの視点で豊かな青年期の学びを」

文部科学省
障害者の生涯学習推進アドバイザー

國本　真吾　先生

鳥取短期大学幼児教育保育学科教授
全国専攻科(特別ニーズ教育)研究会会長
専門は障害児教育学
障害のある人の青年期の発達と教育について、
特に学校教育修了後や学校外教育の視点から研究

②行政説明

「障害者の生涯学習推進事業」について

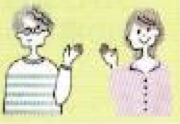
文部科学省の方から取組について紹介していただきます

文部科学省

③学びの場紹介

愛知県内で「学びの場」を実践される事業所より、青年たちの成長する姿や取組を紹介していただきます

新事業所が参加します！



日時　11/29(日)　13時～15時30分
(受付12時30分～)

会場　名古屋市中小企業振興会館
(吹上ホール)第７会議室(4階)

参加費　無料

定員　120名
(定員になり次第締め切ります)

お申込みはQRコードから

申込期限11月20日(金)

障がいのある子の保護者の方をはじめ福祉・療育・特別支援教育に関わる方など、どなたでもご参加いただけます。
皆さまのご参加をお待ちしております。

instagram
最新情報

CHECK!

@A_MANABINOBA

わたしたちも
もっと 学びたい！

主催／愛知に学びの場を拡げる会　～障がいのある子の18歳以降を考える～

問い合わせ／aichi.manabinoba@gmail.com

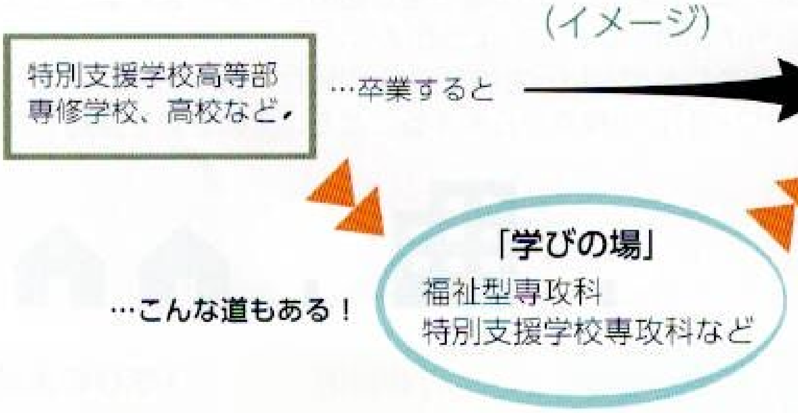
後援／愛知県教育委員会　名古屋市　半田市教育委員会　大府市教育委員会
東海市教育委員会　長久手市教育委員会　東浦町教育委員会

障がいのある子の18歳以降の「学びの場」とは？

知的障がいや発達障がいのある子どもたちは、特別支援学校の高等部や高校の卒業後は一般就労または福祉的就労などの形で、多くの人が18歳で働き始めます。

18歳で社会人になりますが、就労しても様々な要因でつまづきやすく、3人に1人が離職すると言われています。

社会に出る前に、仲間とともに自分にあった学びを深め、多様な経験を積むことは社会人になるための準備期間となります。学びの場での時間を通して、より自分らしい人生を自分の足で歩くための力をつけていけると思います。


（イメージ）

特別支援学校高等部
専修学校、高校など

…卒業すると

一般就労、または福祉的就労

「学びの場」
福祉型専攻科
特別支援学校専攻科など

…こんな道もある！

ともだちを作りたい！
自分で考える！
もっと知りたい！

「学びの場」の紹介

○福祉型専攻科

障がい福祉サービスを活用した専攻科で、受給者証に基づく負担で学べます。生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援などを組み合わせた４年型の福祉カレッジなど年数や形態は様々あります。

- フォレスクール（和歌山）
- ぽぽろスクエア（大阪）
- ゆたかカレッジ（関東・沼津など）
- みらいカレッジ（福岡、三島）

など全国には、多数あります。

○特別支援学校専攻科

特別支援学校高等部に設置されていて、知的障がいを対象とした場合、全国に10校あります。

- 聖母の家学園（三重）

○愛知の学びの場

- NPO法人　見晴台学園大学
- い～ま就労・自立訓練センター C.O.College
- JOBs COLLEGE
- Cocorport College
- 福祉型カレッジAila

（それぞれ障がい福祉サービスを活用）

introduction

愛知に学びの場を拡げる会 ～障がいのある子の18歳以降を考える～

私たちは、知的障がいや発達障がいのある子どもたちが生涯にわたって自分らしく生きられることを願い活動しています。健常の子どもと同じように、障がいのある子どもたちにとっても青年期に学びを深める時間は大切だと考え、18歳以降も「学ぶ」という選択肢があたりまえにある社会となることを願っています。

全国では障がいのある青年たちが学び続けられる「学びの場」が少しずつ増えていますが、その重要性はまだ十分に知られていません。愛知でも学びの場は限られ、必要な人に情報が届いていない現状です。私たちはまず知ってもらうことを大切にし、講演会などを通して学びの場の必要性を伝えています。

会の活動は３年目となり、日本福祉大学伊藤修毅教授にアドバイザーを担っていただき、今後も活動を広げていきたいと思います。一緒に活動する仲間や、応援してくださる団体・個人の方を歓迎します。お気軽に会のスタッフまでお声かけください。MailやDMでもお待ちしています♫